

NEW YORK SYMPHONIC ENSEMBLE STRING QUARTET

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート
ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル

弦楽四重奏の夕べⅢ

2011年7月21日(木)

開場17:30 開演18:30
2階メインエントランス特設会場

参加無料 定員:300名
(先着順/定員になり次第締め切り)

【演奏】

弦楽四重奏: ウナ・トーン(1st ヴァイオリン)
ヘクター・オマー・ファルコン・ヴィラファアーネ(2nd ヴァイオリン)
ウィリアム・ハキム(ヴィオラ)
アルバート・パリーニ(チェロ)

合 唱: 男声合唱団コンパーレわかかさ/奈良混声合唱団
ソ ーロ: 西上隆子(ソプラノ)
指 揮: 高原 守(ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル 音楽監督兼常任指揮者)
ピ ア ノ: 入江知子
合唱 指導: 池田光政(奈良県合唱連盟理事長)

【申込み方法】

- 当館ホームページ申込みフォーム
http://www.library.pref.nara.jp/event/event_moushikomi.html
- 往復はがき、FAX、メール
①郵便番号・住所②氏名③連絡先電話番号(FAXでのお申込みの場合は、FAX番号もお書きください。)を記入し、「弦楽四重奏の夕べ参加希望」と明記してください。
また、往復はがきで申込みの場合は、返信にも送付先の郵便番号、住所、氏名を必ず記入してください。
申込み専用アドレス koen@library.pref.nara.jp
- 来館による申込み
2階貸出返却カウンターで申込みを受け付けます。
※1通につき、2名様までのお申込みとします。2名様お申込みの場合は、その旨明記してください。

主催: 奈良県立図書館
共催: NYSE/(株)ビザビジョン/NPO法人地域創造政策研究センター
協力: 男声合唱団コンパーレわかかさ/奈良混声合唱団



奈良県立図書館

【お問い合わせ/お申込み先】
〒630-8135 奈良市大安寺西1-1000
奈良県立図書館「弦楽四重奏の夕べ」担当
TEL: 0742-34-2111 FAX: 0742-34-2777



STRING QUARTET

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート
ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル

弦楽四重奏の夕べⅢ

PROGRAM

【弦楽四重奏】

ハイドン 弦楽四重奏曲 第34番ニ長調 作品20-4

ベートーベン 弦楽四重奏曲 第2番ト長調 作品18-2

【弦楽四重奏と合唱団とのコラボレーション】

フォーレ レクイエム

- I 入祭唱とキリエ INTROITUS et KYRIE
- III サントゥス SANCTUS
- IV ピエ・イエズ PIE JESU
- V アニュス・デイ AGNUS DEI
- VII 天国にて IN PARADISUM

モーツァルト アヴェ・ヴェルム・コルプス ニ長調 KV618

※予告なく曲目、曲順を変更することがあります。

PROFILE



西上 隆子 (Soprano)

にしがみ たかこ (ソプラノ)

関西学院大学社会学部卒業 奈良混声合唱団入団。合唱活動の傍ら、各種コンサートにおいてボランティアでソロ活動に従事。

2007年、奈良県合唱連盟の創設 45 周年記念演奏会にソリストとして出演。

現在奈良混声合唱団の理事長及びソプラノ ソリストとして活躍中。波多野 均氏に師事。



入江 知子 (Piano)

いりえ ともこ (ピアノ)

相愛大学音楽学部ピアノ専攻科卒業。ムジカ・ドマーニコンサート、ファイン・アーツ コンサート等、多くに出演。ピアノ・リサイタル、絵画と音楽のコンティニューイティエを開催する他、近年ではウィーン・フィルのメンバーとシューマンのピアノ五重奏曲を共演。

長崎照子、照子、ミヒャエル・ケラー各氏に師事。現在、奈良混声合唱団、スマイル・エコーの伴奏者。

ムジカ・ドマーニ、沙羅の木会、奈良県芸術協会会員。



Una Tone (Violin)

ウナ・トーン (ヴァイオリン)

ラトビア、ラガ生まれ。幼少期から様々なコンクールで頭角を現し、ソロヴァイオリニスト、室内楽奏者としても世界的に多くの経験を積む。フロリダのステットリン大学へ奨学金を得て入学、ミュージック・パフォーマンスとビジネス・アドミニストレーションの学位取得。在学中ステットソン・シンフォニー管弦楽団やステットソン室内管弦楽団、ステットソン弦楽四重奏団コンサートマスターを務める。多くの大学主催のコンサートに入賞、奨学金を得てアスペン音楽祭に参加。現在NY市に移り住み、ブロードウェイ音楽や録音音楽、映画音楽を手がけ、「David Letterman」や「The Today's Show」を含む多くのテレビ出演を果たす。ポップ、クラシックとジャンルを問わず著名なミュージシャンと共演。カーネギーホールやメトロポリタン・オペラハウスではニューヨークポップスやニューヨーク・オペラ管弦楽団、アーン、マシュー・プロドリック、ユマ・サーマンと共演。現在ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル楽団員。



Hector Omar Falcon Villafane (Violin)

ヘクター・オマー・ファルコン ヴィラファアーネ (ヴァイオリン)

プエルトリコを代表する音楽家ホセ・フィグエロやプエルトリコ交響楽団のジェイミー・メディナに師事。ジュリアード音楽院で学士号、修士号を取得、ヒョーカン、川崎雅夫に師事し、イツァック・パールマン、ドロシー・ディレイ、以後・ペズドニー、ルーベン・ゴンザレスのマスタークラスに参加した。サム・レベソンのバイオリンコンクールをはじめ合衆国内及び、プエルトリコで数々のコンクールに参加し、優秀な成績をおさめている。ソリスト、室内楽の演奏家として多忙なスケジュールをこなす一方、パン・パシフィック音楽祭など、アジアの音楽祭にも参加している。現在ニュージャージーオーケストラ、そしてニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル楽団員。



William Hakim (Viola)

ウィリアム ハキム (ヴィオラ)

ニュージャージー州、エリザベスで生まれる。イーストマン スクール オフ ミュージックにてジョン グラハム氏に教わり、最高位で卒業、ジュリアード音楽院で修士号を取得、客員としてローチェスターフィルハーモニー、ニューヨーク シティオペラ、ニュージャージー交響楽団で演奏活動。ソロ活動においては、ヨーロッパ諸国、ニュージランド、コスタリカ、アルゼンチン、チリで活躍、現在 ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル楽団員。



Alberto Parrini (Cello)

アルバート・パリーニ (チェロ)

イタリアで生まれ、ティモシー・エディ、ジョエル・クロスニック、デイビッド・ソイヤーに師事する。米国カーティス音楽院にて学士号を取得、ジュリアード音楽院にて修士号を取得、室内楽を主として米国、カナダ、メキシコ、ヨーロッパ、アジアにて公演する。

またメジャーオーケストラ、アメリカン交響楽団、NYフィル、オルフェウス室内楽団、ミネソタ交響楽団などでゲストアーティストとして出演。現在ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル首席奏者。

ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル

NEW YORK SYMPHONIC ENSEMBLE



(高原 守 常任指揮者)

高原守が率いるニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルは、1979年ニューヨーク・メトロポリタン室内管弦楽団として発足し、その後間もなく現在の名称に改められ、今年で32シーズン目を迎える(来日は24回目)。

団員は、メトロポリタン・オペラ・オーケストラのメンバーをはじめ、ニューヨークを中心に第一線で活躍している演奏家で構成されている。また優秀なアーティストが多数加わっているため、ソロをフィーチャーした作品を多くレパートリーとしている。毎年、ニューヨークの国連本部で開催されるUNFPA(国連人口基金)の表彰式典では、世界中の受賞国の音楽をアレンジした演奏で、好評を博している。ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルの活動のユニークさは、いかにもニューヨークらしい明るく透明で、ハートにしみるような魅力的な演奏をしているというだけでなく、世界中の若き演奏家達を育て、広く紹介しているという点にある。